

### 3 小倉南区の魅力をさらに高めるために取り組んでいる事業

#### (1) ガシャモク保存活動の支援

ガシャモクは、小倉南区呼野にあるお糸池に自生している水草です。環境省レッドリストに絶滅危惧種として指定されており、自生しているのは、全国で青森県つがる市と小倉南区の2か所のみです。

#### 《ガシャモク保全活動状況》

○平成12年を境に生育状況が悪化し、保全を目的とした活動を始め。

○ガシャモクの保全活動

①ため池の水落とし・周辺樹木の伐採などの「伝統的な営み」の復活

②生育地点の分布調査

③団体間の協力・協働体制の確立 など

○平成23年にガシャモク再生の会や区役所など5団体で協議会設立

○以後、定例調査の実施、小学校の総合的な学習と関連して生育特性の解明を行っている。



ガシャモク



自生地（お糸池）

#### (2) シチメンソウの再生

シチメンソウは、アカザ科の1年草で塩水に耐える「塩生植物」です。晩秋に赤く色づくことから「海辺の紅葉」と呼ばれています。

かつて曾根干潟には、シチメンソウが群生していましたが、1970年頃に絶滅しました。

地域住民からシチメンソウの再生を求める声が多く寄せられたため、平成22年度から地元の方や小学校が中心となって、発芽の条件や生育状態の観察や種子の採取などを行っています。



シチメンソウ